

読体術道場

～実践力を磨く漢方達人への道～

ハイブリッド開催 (全 10 回) のご案内

謹啓 時下ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

前シリーズ「さあ、どうする漢方 Z to A 実践から基礎へ・Season 2」では、多数の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。このたび、新たな連続講演「読体術道場～実践力を磨く漢方達人への道～」（全 10 回シリーズ）を開催いたします。（現地会場および WEB 配信併用のハイブリッド開催）

本シリーズにおきましても、是非多くの先生方にご参加賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、従来通りの系統的な学習の場として、第 7 期(下半年) 関西系統中医学講座「基礎理論編」「生薬・処方解説編」「生理・病態・治療編」「弁証・症例分析編」の 4 編構成 (各編隔月毎、各 10 回、通算 2 年間) を大阪にて開催しております。詳細につきましては、弊社 HP に掲載のご案内をご参照ください。

謹白

講師

仙頭クリニック 院長 仙頭 正四郎 → [講師紹介は 2 ページをご覧ください]

特徴

症例を前にして、喜ばれる治療効果を手にするために、どう取り組むべきか？ やみくもに漢方薬を振りかざす前に、まず、患者はどんな状態なのか、患者の中で一体何が起きているのかを適切に見抜くことが、漢方達人への第一歩である。その道を拓く極意が「読体術」にあり！気・熱・血・津液の軸で事象を刻み、寒熱／虚実の概念に落とし込んで、患者の状態、主訴の病態を描き出す。同じ切り口で生薬／処方を理解することで、方剤を病態解決の道具として扱う姿勢で治療に臨むことができる。毎月提示される症例とこうした姿勢で向き合うことで、漢方達人の腕を磨く。

日時

第 1 回	2026 年 4 月 19 日(日)	第 6 回	2026 年 10 月 18 日(日)
第 2 回	2026 年 5 月 17 日(日)	第 7 回	2026 年 11 月 29 日(日)
第 3 回	2026 年 6 月 7 日(日)	第 8 回	2026 年 12 月 20 日(日)
第 4 回	2026 年 7 月 19 日(日)	第 9 回	2027 年 2 月 21 日(日)
第 5 回	2026 年 9 月 6 日(日)	第 10 回	2027 年 3 月 21 日(日)

◆8 月と 1 月は休講です。 → 最終回

各日 13:30～16:30 [詳細は予定カリキュラム (3 ページ) をご確認ください]

現地会場

飯田橋レインボービル (所在地：東京都新宿区) → [詳細は 4 ページへ]

第 1 回～第 3 回・第 6 回～第 10 回【A 議室(1F)】定員 20 名

第 4 回【中会議室(2F)】定員 60 名・第 5 回【C 会議室(1F)】定員 60 名

WEB 配信

Zoom ウェビナーにて、現地会場での講演をライブ配信

参加費

現地会場・WEB 配信共に、各回 3,000 円 (消費税等 10% 272 円込み)

※電子データ (PDF ファイル) 資料代を含みます。

<ご提供資料について> 下記①・②の 2 段階配付を予定しています。

①講演前、準備出来次第：症例プロフィール・基礎概念追加解説・生薬処方理解の解説など

②講演終了後、当日以降：症例分析・治療経過・治療に対する講師の考え方など

◆現地会場：電子データの他、ご出席時、会場にて紙に印刷した資料も配付いたします。

◆WEB 配信：電子データのみのご提供となります。ご了承ください。

→ [お申し込み方法など詳細は、別紙『講座参加のお申し込みのご案内』をご覧ください。]

主催

小太郎漢方製薬株式会社

講師紹介

仙頭 正四郎 (せんとう せいしろう)

仙頭クリニック 院長 医学博士

(東京都文京区本郷3-14-16 美工本郷第2ビル6階 TEL・FAX:03-3868-3350)

日本東洋医学会漢方専門医/日本内科学会認定内科医

1957 (昭和32) 年 高知県生まれ
1982 (昭和57) 年 東京医科歯科大学 (現・東京科学大学) 医学部卒業
1982 ~ 86 年 東京医科歯科大学 (現・東京科学大学)・大学院 生理学専攻
1985 ~ 87 年 米国ハーバード大学医学部、解剖・細胞生物学教室研究員
1987 ~ 89 年 東京医科歯科大学 (現・東京科学大学) 医学部助手 (公衆衛生学・環境生理学)

この間、臨床の場での漢方薬との出会いから東洋医学に興味を持ち、研究者としての生活の傍ら、東洋医学を取り入れた外来診療を実践。

1989 (平成元) 年 東洋医学に専念する決意で大学を辞す。

1990 (平成2) 年 東京・文京区に漢方診療を専門とする仙頭クリニックを開設

時期を前後して豊島病院 (旧)、日本医科大学 (旧)、東京医科歯科大学 (現・東京科学大学)、順天堂大学の漢方外来を担当する一方、研究会主催、講演、大学の講義担当など診療と教育に尽力。医療にとどまらず、マスコミ出演、一般向け著書、雑誌コラム、市民講座など、東洋医学の知恵を日常に活かす啓蒙活動にも尽力。

2006 (平成18) 年 大阪・福島区にクリニックを移転。

2010 (平成22) 年 一般財団法人高雄病院京都駅前診療所 所長に就任 (仙頭クリニック閉院)

2018 (平成30) 年 東京・文京区本郷に仙頭クリニックを再開 現在に至る。

著書・編著 : 標準東洋医学 [金原出版]

家庭でできる漢方2・子どものアトピー [農文協]

家庭でできる漢方3・花粉症 [農文協]

家庭でできる漢方4・不眠症 [農文協]

新型コロナウイルス感染症の治療と予防の漢方戦略—パンデミックから命を守る— [医学と看護社]

漢方で免疫力をつける—ウイルス対策からウエルエイジングまで [農文協]

究めるエキシ漢方大全「ZtoA」実践から基礎へ [金原出版]

症例でわかる東洋医学 読体術 8つの体質と漢方薬活用 [農文協]

共著 : 21世紀の医療への招待 [誠信書房]

家庭医学事典 [新星出版社]

こころの仕事 [パルコ出版]

現代語訳 啓迪集 (けいてきしゅう) [思文閣出版]

漢方診療二頁の秘訣 [金原出版]

家庭でできる漢方1・冷え症 [農文協]

監修 : 最新 カラー図解 東洋医学 基本としくみ [西東社]

現代の食卓に生かす「食物性味表」—薬膳ハンドブック (改訂2版) [日本中医食養学会]

「口をばくばくする」と超健康になる : 筒井重行著 [マキノ出版]

■ 講座の方針と特徴 ■

東洋医学理論を活用してからだのバランス状態を判別し、「体質」の鑑定につなげ、治療に活かしたり養生法を考へたりする手段を、「体質を読む」という意味から、「読体術」と名付けました。

「読体術」では、陰陽概念を基本に、寒・熱/虚・実、さらには気・熱/血・津液と考へを発展させ、それらを複合的にとらえる手段を提唱しています。

本講座では、毎回実症例をあげ、「読体術」の視点を活かして患者の様子や主訴の病態を気・熱・血・津液の軸を切り口に分析把握し、その情報を寒熱/虚実の概念に落とし込むことで、患者の中で一体何が起きているのか、病態の把握、治療のとり組みをご参加の皆様と一緒に考へます。

患者や病態把握に向けた同じ切り口で、生薬や処方作用や特徴を理解することで、把握した病態解決に、方剤を道具として扱う治療姿勢を手に入れます。

その過程で、気・熱・血・津液の生理機能の理解、その過不足・停滞に特有の疾患傾向や身体・外見の特徴、生活養生のポイント、関連の深い処方の構成と特性について理解を深めます。これらの基礎的な内容は、書籍『症例でわかる東洋医学「読体術」8つの体質と漢方薬活用』にまとめています。事前に目を通して基本概念を理解しておくことができます。この書籍を講座の基本テキストといたします。

書籍の記述内容や視点を実症例で体験することで、「読体術」の視点で取り組む実践治療のノウハウを身につけ、漢方治療の技術とセンスを磨く「道場」と位置づけ、「漢方達人」を目指します。

最終回では、講座で手に入れた「読体術」のセンスから見えてくる「これさえあれば漢方達人」の「極意」を「免許皆伝」します。

■ 講座の実際 ■

症例のプロフィールや基本概念の追加解説資料は事前にインターネット提供いたしますが、症例分析、処方や治療経過、治療における演者の考へなどの症例関連資料は事前提供いたしません。当日以降の提供となりますので、ご了承ください。それまでの間、各自の考へで症例と向き合って当日の講座に臨んでください。

予定カリキュラム (全 10 回)

各日 13 : 30~16 : 30 開催

日程		テーマ
第1回	2026年4月19日(日)	読体術の考え方 陰陽・虚実と気・熱・血・津液を重ねる身体のとらえ方
第2回	2026年5月17日(日)	不足の体質① 気不足を主とする症例・疾患・漢方薬
第3回	2026年6月7日(日)	不足の体質② 熱不足を主とする症例・疾患・漢方薬
第4回	2026年7月19日(日)	不足の体質③ 血不足を主とする症例・疾患・漢方薬
第5回	2026年9月6日(日)	不足の体質④ 津液不足を主とする症例・疾患・漢方薬
第6回	2026年10月18日(日)	過剰・滞りの体質① 気滞を主とする症例・疾患・漢方薬
第7回	2026年11月29日(日)	過剰・滞りの体質② 湿熱を主とする症例・疾患・漢方薬
第8回	2026年12月20日(日)	過剰・滞りの体質③ 血瘀を主とする症例・疾患・漢方薬
第9回	2027年2月21日(日)	過剰・滞りの体質④ 湿痰を主とする症例・疾患・漢方薬
第10回	2027年3月21日(日)	読体術「免許皆伝」 あらゆるものをこの目で見極め技

最終回

◆8月と1月は休講です。

*諸事情から日程・症例・ほか各内容が変更になる場合があります。何卒ご了承ください。

◀変更になり次第、弊社ホームページ掲載等にて、順次お知らせいたします。▶

基本テキスト

※各自でご準備ください。

健康双書

『症例でわかる東洋医学「読体術」8つの体質と漢方薬活用』

仙頭正四郎 著

定価 1,760 円 (税込)

ISBN コード 978-4540211324

発行日 2023/01

出版 農山漁村文化協会(農文協)



講座参加のお申し込み方法など

◆原則、Peatix (ピーティックス) でのお申し込みとなります。お支払いは、クレジットカード、コンビニ/ATM 払いのいずれかをご利用いただけます。

*Peatix (ピーティックス) のご利用が難しい場合は、事務局までお問い合わせください。

*詳細につきましては、別紙『講座参加のお申し込みのご案内』をご覧ください。

◆やむを得ない事情 (天災、交通機関の麻痺、講師の都合など) により講座が開催できなくなった場合は、当該回分のカリキュラムについて、日時を改めて開催するなどの対応をさせていただくことがあります。

資料・DVD 販売について

◆資料について

○症例分析や治療経過、基礎概念の追加解説などを紙に印刷した資料をお送りいたします。基本テキスト書籍の記述と重複する部分は提供されません。その点をご了承いただき、お申し込みください。

○お届けは各回開催の約3~4週間後を予定しています。準備の都合上、多少前後することがあります。

◆DVDについて

○約180分のDVD各1枚で、1回の講座(ライブ撮影)となります。

○お届けは各回開催の約1ヶ月後を予定しています。製作の都合で多少前後することがあります。

○事情により講座当日に撮影ができなかった場合は、DVDの販売はいたしませんので予めご了承ください。

◆資料・DVDともに、各回ごとのご購入が可能です。

・各回、資料1部1,000円(消費税等10% 91円込み)、DVD1枚5,000円(消費税等10% 455円込み)となります。

詳細につきましては、次ページの資料・DVD購入方法をご覧ください。

資料・DVD 購入方法

◆実施済みの内容は、資料・DVD が購入できます。

資料：各回1部1,000円(消費税等10% 91円込み)、DVD：各回1枚5,000円(消費税等10% 455円込み)、
購入のお申し込みは、下記①～③のいずれかをご利用ください。

<資料・DVD購入の申し込み方法(※講座参加の申し込みとは異なりますのでご注意ください)>

①インターネットでのお申し込み

弊社ホームページ内「資料・DVD購入申し込み入力フォーム」より、お申し込みください。

※<https://www.kotaro.co.jp/>より、「医療関係者の皆様へ」→「講演会のご案内」をご覧ください。

②FAXでのお申し込み

別紙「資料・DVD購入申し込み用紙」にご氏名・ご住所など必要事項をご記入のうえ、事務局まで
FAX(03-5201-5566)にてお送りください。

③E-mailでのお申し込み

申し込み用紙に記載の必要事項を入力し、dokutaijutsu@kotaro.co.jpへお送りください。

<代金のお支払いについて>

資料・DVD代金は、後払いとなります。資料・DVD送付時に講座専用払込票を同封いたしますので、
そちらをご利用ください。銀行口座振込もご利用可能です。詳細につきましては、資料・DVD送付時
にご案内いたします。

会場のご案内

※第4回・第5回は、会議室の場所が通常とは異なります。ご注意ください。(同ビル内)



飯田橋レインボービル

◆第1回～第3回・第6回～第10回

A会議室(1F)

◆第4回

中会議室(2F)

◆第5回

C会議室(1F)

〒162-0826

東京都新宿区市谷船河原町11番地
TEL03-3260-4791

<JR>

●中央・総武線各駅「飯田橋」駅
西口から徒歩6分

<地下鉄>

●有楽町線/南北線「飯田橋」駅
から徒歩5分

●東西線/大江戸線「飯田橋」駅
から徒歩9分

(*地下鉄はB3出口)

読体術道場事務局

小太郎漢方製薬(株)東京支店 医専課内 登録番号:T2120001063899

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-6-1(丸柏ビル1F)

(TEL) 03-3231-2340 (FAX) 03-5201-5566 (e-mail) dokutaijutsu@kotaro.co.jp